

港湾技研資料

TECHNICAL NOTE OF
THE PORT AND HARBOUR RESEARCH INSTITUTE
MINISTRY OF TRANSPORT, JAPAN

No. 311

Mar. 1979

波浪に関する拠点観測年報(昭和52年)

高	橋	智	晴
佐	々	木	也
広		瀬	一

運輸省港湾技術研究所

波浪に関する拠点観測年報（昭和52年）

高橋智晴*
佐々木徹也**
広瀬宗一**

要 旨

“波浪に関する拠点観測実施要綱”（昭和43年10月，昭和50年3月25日改訂，運輸省港湾局策定）にもとづき，各港湾建設局は観測記録方式のデジタル化を中心とした現地波浪観測施設の整備をはかり，港湾技術研究所は取得観測データの集中バッチ処理体制を確立して，昭和45年度より経常的な運用を開始した。北海道開発局管内においてもこれに準じた実施体制を整備し，同時に運用を開始した。

この報告は既刊“波浪に関する拠点観測年報”（昭和45年版～昭和51年版）に引続き，昭和52年1月1日より同年12月31日に至る1か年間の観測資料を整理し，当該期間における各拠点観測の波浪統計ならびに異常波浪状況についてとりまとめた。

波浪に関する拠点観測指定港および指定準用港は下記の24港で，このうちアンダーラインを付する名瀬港は指定港として昭和52年より観測を実施している。

第一港湾建設局：酒田港，金沢港

第二港湾埋設局：八戸港，小川原^{*}，鹿島港，東京湾口，波浮港，（釜石港，小名浜港）

第三港湾建設局：潮ノ岬，神戸港，浜田港

第四港湾建設局：藍島，伊王島，油津，名瀬港^{*}，(刈田港)

第五港湾建設局：田子の浦港〔長周期波の観測〕

沖縄総合開発事務局：那覇港，中城湾

北海道開発局：苫小牧港，留萌港，紋別港，釧路港

注) *：指定準用港

()：デジタル記録装置未整備

* 水工部 海象観測研究室長
** 水工部 海象観測研究室